



なるほどなっとくニュース

県立山口博物館
学校地域連携担当

なっとくんの「なるほどなっとくニュース」は、県立博物館ホームページでダウンロードすることができます。

ひらひら舞う種

寒さが厳しくなるにつれ、木々の葉がひらひらと舞い落ちるようになりました。博物館横のイロハモミジも紅葉を楽しませてくれましたが、とうとう落葉し冬の姿に変わりました。イロハモミジの葉がひらひらと舞い落ちるのも風情がありますが、葉だけでなく実は種もひらひらと舞い落ちます。種を取って観察すると、種に羽根があることが分かります。見つけたらぜひ高い所から落とし、その様子を観察してください。他にもマツやアオギリ、ボダイジュの種もひらひらと舞い落ちます。ひらひらと舞い落ちると地面に落ちるまでに時間がかかり、風で種が遠くまで運ばれます。



種 →



博物館横のイロハモミジ
(11月14日撮影)



採取した種
二枚一組ですが、落ちるときは一枚ずつ落ちていきます。

マツの種をとってみよう

マツの種にも、飛ぶための羽根があります。でもマツの種ってどこにあるのでしょうか。実は、マツの種は松ぼっくりの内側にあります。マツの種の取り方は、まずマツの木についているまだ開いていない松ぼっくりを採取します。次にその松ぼっくりを箱などに入れ乾燥させると、松ぼっくりが開き種を取ることができます。取れたらマツの種も飛ばしてみてください。



開いていない松ぼっくり



箱の中で乾燥させる



種



採取した種



その他のひらひら舞う種

アオギリ



撮影場所：宇部市役所裏



ボダイジュ



撮影場所：山口市洞春寺

